



2年生進路ガイダンス(企業説明会と大学模擬授業)

2024年12月3日

昨日(12月2日(月))、2年生は就職希望者と進学希望者に分かれて、進路ガイダンスを行いました。

就職希望者は飯田市のエスバードで開かれて飯田職業安定協会主催の企業説明会に参加してきました。飯田下伊那地域の企業82社が参加しており、昨日は飯伊の高校7校から400人余りが参加したそうです。

生徒たちは企業のブース3ヶ所まわって会社の強みや働き方などを聞き、説明記録を取りながら管内の産業や企業についての知識を深めました。



・企業説明会に向かう生徒たち(学校からエスバードまで、バスを出していただきました。)

一方進学希望者は、金沢工業大学と飯田短期大学の先生方をお呼びし、模擬授業を体験しました。

金沢工業大学の武市 祥司 教授の模擬授業では、聞き手にわかりやすく伝えたり、問題を整理し解決策を見つめやすくなるための思考法＝「論理的思考法(ロジカルシンキング)」の講義でした。大学入試での小論文の構成にも活用できるとの話もされました。



見つけやすくなるための思考法＝「論理的思考法(ロジカルシンキング)」の講義でした。大学入試での小論文の構成にも活用できるとの話もされました。

続けて飯田短期大学の澤田 有香 准教授の講義は、「幸せな人間関係を保ちつつ、人生の舵を自分でできる」と題し、人の行動を自動車に例えて、どこに向かうかを自分で決める上で、どうセルフコントロールしていけば良いか、具体的にわかりやすくお話ししていただきました。

高2のこの時期は、これからの進路を具体的に考え始める重要な時期です。



「幸せな人間関係を保ちつつ、人生の舵を自分でできる」と題し、人の行動を自動車に例えて、どこに向かうかを自分で決める上で、どうセルフコントロールしていけば良いか、具体的にわかりやすくお話ししていただきました。

高2のこの時期は、これからの進路を具体的に考え始める重要な時期です。

【自分の未来を見据え、最適な選択をするため】

- 1 自分の興味や関心、得意なこと、価値観を見つめ直すなど、自己理解を深めよう。
- 2 就職先や大学や専門学校などの情報を積極的にそれぞれで集めよう。
- 3 自分の目標を明確にし、その目標に向かってどのように行動すべきかを計画しよう。

飯田職業安定協会のみなさん、また、講義いただいた武市先生、澤田先生、ありがとうございました。

「霜月まつり」と「輝く油絵」

2024年12月5日

12月のことを「師走」と言いますね。その語源や意味については諸説あるそうですが、「年の瀬が迫り師(僧侶や先生)が走り回るほど忙しい月」から「師走(しわす)」と呼ばれるようになった、という説が有名ですね。他にも、「年果つる(としはつる)」の年の終わり説、「四極月(しはつ)」の四季の最後説、「一年の仕事を為し終える」の仕事を終える＝為果つ(しはつ)説もあるそうですが、日に日に日が暮れる時間も遅くなり、令和6年(2024年)も残すところあとわずかとなりました。

古来の人々は、そんな昼間の時間も最も短く生命力も弱まる冬至の時期、全国の神々をお招きして湯でもてなし、太陽と生命の復活を祈る儀式が南信州の遠山地区で行われます。それが『霜月まつり』です。

何故12月(師走)なのに霜月(しもつき)なのかというと、この冬至の頃は旧暦では11月＝霜月だからです。

(以下は令和5年度2学期終業式「校長講話」より)

阿南高校の事務室前の廊下に展示されている絵画ですが、ちょうど「霜月まつり」や「冬祭り」が行われるこの時期に、不思議な現象が起こるのです。



この不思議な現象は、校舎と校舎の合間から差し込んだ朝日がろうかの床面に反射し、絵画が光り輝くのです。飯田市南信濃に暮らした童画家の北島新平さんの作品で、開校三十周年記念に書いていただいた油絵だそうです。

北島さんは福島県のご出身で、縁あって長野県に移り住み、結婚して旧木沢村＝飯田市南信濃木沢に籍を移し、小中学校の教員を務める傍ら、飯田下伊那地域を巡って祭りなどを描き創作活動に励んだそうです。

北島先生が愛し絵画に残した南信州の風土や民族文化が、作品とともにこの先ずっと大切に愛し続けられ、後世に繋いで行って欲しいと願っています。



『週刊いいだ』熱中！夢中！ハイスクールに掲載〜峠の綱引き アンカーとして活躍

2024年12月13日

昨日（12月12日(木)）、信濃毎日新聞が飯田下伊那地域に配布している「週刊いいだ」に本校2年生の片町理空(りく)さんの記事が掲載されました。



長野と静岡県境のヒョー越峠（飯田市南信濃）で毎年行われている「峠の国盗り綱引き合戦」の信州軍の主力メンバーで活躍した様子などが紹介されました。理空さんの他にも、同郷（幼なじみ）で本校3年生の横畑さん・山崎さんもテレビ番組レポーター役で試合を見守った様子も紹介されています。

初任者研究授業（英語・数学）

2024年12月13日

本日1限と3限に、英語と数学の初任者による研究授業が行われました。

1限は英語科石田先生の「英語コミュニケーションⅡ」（2学年A B組地域探求コース）



です。関係代名詞 what の分野の学習で、英作文にチャレンジしました。

阿南町に必要なのは○○○だ。

→ What Anan Town needs is ○○○.

3限は数学科菅田先生の「数学A」（1学年）で、確率の「余事象」の単元を学習しました。余事象について、身近な事（事象）を取り上げて、わかりやすく説明しました。



教壇の先生、そして、生

徒もいつもと異なる雰囲気での授業で、とても緊張したと思います。本当にお疲れ様でした。また、総合教育センターよりお越しいただいた樋口先生、ご助言・ご指導等ありがとうございました。授業後の研究会で出された反省点やアドバイスを、今後の授業に活かしてほしいと思います。

今年も「探Q フェスティバル」に参加

2024年12月16日 19時19分

校長ブログ R6

一昨日12月14日(土)に塩尻の総合教育センターに集まり、県内の高校生が取り組んだ探究や課題研究活動、海外での体験や国際交流の体験報告などを発表する「探Q フェスティバル2024」が開催されました。

本校からも2年生のグループが、『阿南町の「コメ」った問題の課題解決に向けて』をテーマに、ポスターセッションを行いました。



会場の訪れた生徒や保護者、先生方に説明したり、質問に答えたりと、探究活動を通じて得た知識やスキルを他者に伝えることで、自分自身の理解をさらに深めることができたかと思

います。



生徒たちは信州アトムの佐々木さん（前PTA会長）の指導の下、放課後を使って余剰米を自ら製粉し、その米粉を使って飯田のパン工房「ゆめのや」さんでパンを焼いていただきました。出来上がったパンは、今週の19日(木)に地元阿南町の小中学校に提供されます。その当日、生徒たちは阿南第一中学校を訪問し、米粉パン提供の経緯を説明する予定です。

読書に親しむ - 読書旬間 12/16(月)~24(火)

2024年12月17日

昨日から冬の読書旬間が始まっています。朝 SHR 前の10分間（8:30~8:40）朝読書です。

朝の静かな時間の読書は、心が落ち着き、ストレスの軽減やリラックス効果、集中力の向上の効果があると言われていま



す。本の世界に浸ることはとても大切なことですね。

生徒会も秋から新体制で活動





が行われており、その生徒会役員の皆さんからおすめの本を紹介してもらいました。

また、最終日の24日(火)には、恒例の「クリスマス会」も計画されています。楽しみです。

～*～*～*～*～*

追悼 谷川俊太郎さん

素晴らしい作品をありがとうございました



に向けての準備として、模擬面接を行いました。2週間前の12月2日には、上級学校(金沢工業大学さんと飯田短大さん)から講師をお招きし、進学を想定した面接指導を行っています。今日は、就職目線での模擬面接を行いました。

それぞれ自分の未来に向けて知識を身に付け、計画的・段階的に準備を進めていって欲しいと願っています。

(お忙しい中、講義・指導いただき、ありがとうございました。)

Hand Bell Concert

2024年12月17日



生徒たちは演奏の前の曲紹介では緊張した面持ちでしたが、始まると演奏に集中して、美しい音色を披露してくれました。

ハンドベル演奏は一人一人の役割が重要です。皆さんは協力し合って素晴らしいパフォーマンスを作り上げてくれました。心に響くハンドベル演奏、ありがとうございます！

年金セミナー(3年)、模擬面接(2年)

2024年12月19日

本日のLHRは、3学年は将来に向けて、公的年金制度の仕組みやその役割の理解を目的に「年金セミナー」を実施しました。



将来といっても20歳から(60歳まで)年金の保険料を納めることが義務付けられています。高校を卒業すればすぐやってきますね。セミナー(講義)

を聴いて、社会保障制度への関心を高め、将来の年金加入や受給に対する意識を持つことができました。今日をきっかけに、関心を持ち、理解を深め、これからのライフプランニングに役立たせてください。

2年生は企業(事業所)の方に来ていただき、来年度の進路活動



探究『阿南町の「コメ」った問題の課題解決に向けて』～地元中学を訪問～

2024年12月20日



先週の塩尻の総合教育センターで行われた「探Qフェス」に参加した2年生の探究グループが、昨日(12月19日)地元の阿南第一中学校のお昼の時間に訪問して、当日の給食に出された米粉パンと米粉を使ったおかずについて、提供の経緯などを説明してきました。

こちらが今日の献立です。主食の米粉パンと、フライドチキン。フライドチキンの衣に米粉を使っています。

全校に向けて説明するために、オンラインにて各教室に配信しました。



教室にはモニターを通して説明が流れました。

IMG_5436 IMG_5431

中学生から、米粉パンにつ

いては「表面が硬くて、中はふわっとしていて美味しい!」、フライドチキンは「普段食べるチキンより、表面がパリパリしていて、とてもいい食感だ!」などの感想が教室に飛び交っていました。

説明の配信が終わると、中学生と同じ献立の給食をいただきました。

(説明した内容は、過日の校長ブログ(今年も「探Qフェスティバル」に参加)をご覧ください。)





今朝のTBS「THE TIME,」の高校生ニュース

2024年12月20日

今朝（6時50分）、TBSの朝の情報番組「THE TIME,」ご覧になりました？

その中のコーナー「高校生ニュース」で、本校生徒の山崎晴香さん（3年）と片町理空さん（2年）が紹介されました。過日（12月12日（木））の校長ブログで、「週刊いいだ」で片町理空（りく）さんの記事を紹介しましたが、今度はTV放映、しかも全国版です。

山崎さんが、長野と静岡県境のヒョー越峠（飯田市南信濃）で毎年行われている「峠の国盗り綱引き合戦」に選手として参加した幼馴染の片町さんの様子などをレポーターとして紹介しました。



2024年度2学期終業式

2024年12月27日

今年度一年を振り返ると、全校133名でスタートし、3年生のみなさんを先頭に、学習、クラブ活動に励み、多くの成果をあげてくれました。クラブでは少人数ではありますが、地区大会や発表会で活躍し、県大会などの上位の大会や発表会に出場しました。特に夏に岐阜県土岐市で開催された「清流の国ぎふ総文2024」に郷土芸能同好会が出場し、全国にも「阿南高校」をしっかりとアピールできたと思います。また、日頃の生徒会活動でも昨年度に引き続き、校門前の挨拶運動や学校前道路の美化活動など、地域貢献など数多く取り組み、地元のみなさんからも感謝のお言葉をいただいています。夏の阿南祭では、一人ひとりの個性を大切にしながら、仲間と協力し共に「阿南祭」を作り上げることができました。坂巻会長から新体制の森本新生徒会長にバトンタッチされ、令和7年度生徒会活動の検討が始まっています。

1、2年生の皆さん、これらを継続しながらも、皆さんのそれぞれのCOLORに磨きをかけ、新しい取り組みに挑戦し、新しい阿南高校の伝統の礎をつくっていきましょう。

世の中に目を向けると、今年の元旦に発生した能登半島地震に9月には豪雨災害などと、予測不可能な自然災害が起きています。政界では、衆議院選で与党自民党が過半数割れし野党が躍進、アメリカ大統領選ではトランプ氏の返り咲き、大きく揺れています。ロシアのウクライナ侵攻やパレスチナ・ガザ地区での武力衝突も続いたままで、円安の影響もありエネルギーや食料の価格高騰など、私たちの生活にも大きな影響が生じています。日本を含め世界は大きな転換期を迎えようとしています。

これらの出来事を通じて、皆さんに考えて欲しいことがあります。

それは「変化や困難に対応する力」と「他者への思いやり」です。

特に自然災害では自助（自分自身を守り）、共助（周囲の人々と協力する）の力が求められますし、また、大リーグで活躍した大谷選手やこの夏のパリオリンピックやパラリンピックで活躍した選手のように、自分に向き合い、目標達成（困難を乗り越える）のため、努力と挑戦を続ける事が大切だと感じたのではないのでしょうか。

他者を思いやり、変化や困難に柔軟に対応して欲しいと思います。来年も素晴らしい一年になりますよう願って、終業式の講話とします。

演奏会 2024（3年選択「演奏研究」）

2024年12月20日

今日4時間目、3年生の選択講座「演奏研究」の生徒による演奏会が音楽室にて行われました。

演奏した楽曲は、アントニオ・ヴィヴァルディの「冬」、大野克夫の「名探偵コナンのテーマ」、久石譲の「君をのせて」、つじあやのの「風になる」、黒うさPの「千本桜」です。

朝や放課後になるとピアノやマリンバの音が聞こえ、授業の時間だけではなく練習を重ねてきました。しかし、人前で演奏するのはなかなかないことで、練習をしてきたものとても緊張したのではないのでしょうか。

曲に込められた想いを伝えられるよう、一所懸命に演奏している姿も感動しました。今日は練習の成果を十分発揮できたかと思っています。

素晴らしい演奏会、ありがとうございました。

